

# MEIKAI-JOEプラス 2023


## 第5回講座

授業研究 東京都狛江市  
学校段階間の接続の重要性

令和5年7月26日（水）

明海大学 教授 石鍋 浩

明海大学 教授 坂本純一

- 
- ▶ 1 本授業から
  - ▶ 2 協議内容から
  - ▶ 3 参考資料の紹介

# 授業のねらい

- ▶小学生にとっては、中学校での英語学習のへの見通しがもてること
- ▶中学生にとっては、英語の力を一層伸ばしたいと思うきっかけになること

# 生徒が行うことを具体的に伝える

第5回講座 授業研究② (狛江市)

身近にいる人紹介 準備に関する説明





# 聞き手に配慮しながら話す

第5回講座 授業研究② (狛江市)  
紹介VTRの作成

後で見る 共有

その他の動画

3:55 / 12:45

YouTube

# 聞き手に配慮しながら話す

## ▶ 中学校学習指導要領「外国語」の目標

聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

## ▶ 小学校学習指導要領「外国語」「英語」「聞くこと」の目標

ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。



# 何を聞き取るのかあらかじめ示す



第5回講座 授業研究② (狛江市)  
小学校での紹介VTRの活用 狛江第六小学校

後で見る 共有

名前	教科	発音の仕方	その他
	英語	この音字	大町町
	音字	カン 仮字	のりまーく 紙の

その他の動画

9:14 / 12:45

YouTube



# 語から文へと段階を踏んだ提示



第5回講座 授業研究② (狛江市)  
小学校での紹介VTRの活用 狛江第三小学校

後で見る 共有

subject	likes	others
	英語	はさみ
	音楽	音楽 (ピアノ)
		UVライト

11:11 / 12:45

YouTube

その他の動画



# 教室を二つに分ける

第5回講座 授業研究② (狛江市)  
小学校での紹介VTRの活用 狛江第三小学校

後で見る 共有

name	subject	like	other
英語	音楽	仙台出身	音楽(ピアノ)
算数	ニラバ	ウタカタ	ウタカタ (ウタ)
	アニヤ	スパイファミリー	

その他の動画

11:20 / 12:45

YouTube



# 未知の単語の使用



第5回講座 授業研究② (狛江市)  
小学校での紹介VTRの活用 狛江第三小学校

後で見る 共有



その他の動画

▶ 🔊 11:47 / 12:45

📺 ⚙️ HD YouTube 📺

# 参考資料の紹介

## 小中連携の取組内容

文部科学省 英語教育実施状況調査の質問項目から

ア **情報交換**（互いの取組・実践を情報として交換する。）

例：授業参観、年間指導計画の交換

イ **交流**（情報交換した内容について研究協議する。互いの学校で授業を行う。）

例：指導方法についての検討会、授業参観後の研究協議、  
中学校教員による小学校での授業

ウ **小中連携したカリキュラムや学習到達目標などの設定**



# 平成26～29年度「外国語(英語)教育強化地域拠点事業」最終報告(文部科学省)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1407190.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1407190.htm)

小・中連携した活動事例(中学校1年生における小学校との連携の在り方について)  
「外国語教育強化地域拠点事業」～山口県光市立室積小学校・室積中学校～

地域の特色・課題 校種間のつながり(「人」・「もの」・「方法」の3つの連携)を活かした外国語教育の推進

めざす  
子どもの姿

**室積中学校**

- ・まちがいをおそれず、自分の意見や考えを積極的に表現できる生徒
- ・英語を用いて、地域や社会と積極的に関わることができる生徒

**室積小学校**

- ・まちがいをおそれず、英語で思いを伝え合うことで、英語を使う喜びを味わうことができる児童
- ・英語を用いて、自分のことや友達のことを表現できる児童

「人」の連携

【教職員のつながり】

- ・毎月1回の英語教育ベース会議
- ・校種間による乗り入れ授業
- ・小中合同研修会の実施
- ・気軽な授業参観 など



【児童生徒の「フォーラム」動画を視聴しながら研修をする小・中学校員】

【児童・生徒のつながり】

- ・動画による間接交流
- ・小中合同授業の実施



(小)中学生の「フォーラム」動画を視聴する(小)小学生



(お)中(小)生と(お)中(小)生

「もの」の連携

【教材のつながり】

- ・クラスルームイングリッシュ(児童・生徒用)
- ・CAN-DOリスト
- ・評価シート
- ・ワークシート
- ・動画コンテンツ など

小中での共通の Classroom English



【授業方法のつながり】

- ・授業スタンダード4Stepsの活用(授業の組立)
- ・授業や単元の展開方法
- ・ICTの活用方法
- ・評価方法 など

取組事例①

取組事例②

取組事例③

★授業スタンダードの活用

授業4Steps

- Warm Up
- Practice/Today's Goal
  - ・表現への慣れ
  - ・動くCAN-DOリストの視聴
- Activity
  - ・クラスルームイングリッシュの活用
  - ・リアクションを含めた自然なコミュニケーション
  - ・タブレット端末の活用
- Look Back

★授業や単元の展開方法【小中共通の取組→小学校からの中学校への積み上げ】

- GOALイメージをもたせた授業展開**
  - ・動画によるモデルの視聴
- 子どもの興味関心を大切に授業や単元の展開**
  - ・地域の素材をいかした単元計画
  - ・小中連携をいかした単元計画
- 場の設定の工夫**
  - ・必然性やリアリティのある場づくり

【成果】

・それぞれの学校で目指す子どもの姿(どんな力をつけたいのか)を共有したり、授業づくりで大切にしていること等の確認ができている。

・小・中学校ともに、授業改善に活かされている。

・学習意欲の向上とスムーズな接続につながっている。

意識調査：外国語の授業は好きですか？

学年	好き	好きでない
小6	95%	5%
中1	94%	6%

(赤)好きと回答した児童生徒の割合 (青)好きと回答した児童生徒の割合

今後の課題

・中学校においては、英語でのやりとりの流暢さだけでなく、英語教員の専門性をいかして、英語表現のより細かいところまでの正確さの指導が求められる。

・文字指導については、小学校からのスムーズなつなぎを意識しながら、抵抗感なく取り組める指導方法を研究していく必要がある。

取組事例①

「人」の連携

【教職員のつながり】

- ・毎月1回の英語教育ベース会議
- ・校種間による乗り入れ授業
- ・小中合同研修会の実施
- ・気軽な授業参観 など



【児童生徒のパフォーマンス動画を視聴しながら評価の研修をする小・中学校員】

【児童・生徒のつながり】

- ・動画による間接交流
- ・小中合同授業の実施



【中学生の「フォーマンス」を視聴する小学生】



【お店役とお客役に分かれて活動する小中学生】

「もの」の連携

【教材のつながり】

- ・クラスルームイングリッシュ (児童・生徒用)
- ・CAN-DOリスト
- ・評価シート
- ・ワークシート
- ・動画コンテンツ など



小中で共通の Classroom English



取組事例②

「方法」の連携

【授業方法のつながり】

- ・授業スタンダード4Stepsの活用 (授業の組立)
- ・授業や単元の展開方法
- ・ICTの活用方法
- ・評価方法 など

取組事例③



# 小・中連携の強化についての取組事例

「外国語教育強化地域拠点事業」～徳島県阿波市久勝小学校・伊沢小学校・林小学校・阿波中学校～

## 地域の特色・課題

徳島県阿波市では、平成18年度よりすべての小学校に地域の英語の堪能な人材を英語講師として配置し、小学校外国語活動を行ってきた。地域の小・中・高等学校が連携を深めつつ、新学習指導要領の趣旨を踏まえた、児童生徒の実態に応じた外国語教育を行うことで、「異文化や国際社会への興味関心」、「英語を学ぶ意欲」が児童生徒に育ちつつある。一方で、「伝え合う力」や「望ましい関係を築く力」の育成については課題が残っている。

### 取組事例①

- ◎小中高の一貫したCAN-DO型学習到達目標と小中で様式を揃えた年間指導計画の作成
- 小学校から高等学校までを見通した一貫したCAN-DO型学習到達目標を作成
  - ⇒小中高等学校の円滑な接続を見通した、系統性のある教育活動を行う。
- 中学校教員の小6授業への参加
  - ⇒週1時間、中1担当教員が小6授業へ参加し、小学校教員とともに指導を行う。
  - ⇒小学校卒業段階でのCAN-DO型学習到達目標の達成状況が把握できる。
- 小中の学習内容の系統性を意識した年間指導計画の作成
  - ⇒小中で年間指導計画の様式を揃え、学習内容を共有する。



↑小中の教員で共有した学習到達目標に達している児童の動画

### 取組事例②

- ◎「やり取り」の指導を軸とした小中連携
- 継続して行う「相手を大切にしたい聞き方・話し方」の指導
  - ⇒児童生徒の発達段階に応じ、「相手を大切にしたい聞き方・話し方」を指導する。
- 中学校における「発表」から「やり取り」へと繋ぐ単元計画の工夫
  - ⇒「やり取り」の前に「発表」の活動を行い、自分の考えをしっかりとめるようにする。
  - ⇒中学校での「やり取り」の活動を見通し、小学校で「Small Talk」を行う。



↑やり取りの活動の様子

### 取組事例③

- ◎児童・生徒の小中連携
- 中1生の小6授業への参加
  - ⇒中1生がビデオレターで小6授業に参加し、小6生のモデルとなるようにする。
- 中学生に伝えることを目的にした小6単元の開発
  - ⇒卒業間近の小6生が、中1生にメッセージを伝える。



↑中1生によるビデオレター

### 取組事例④

- ◎教員の小中連携
- 教材・教具の共有
  - ⇒小学校で使用した教材・教具を中学校でも使用する。
- 指導方法・評価方法等の共有
  - ⇒パフォーマンステスト等同じ議題について小中の教員が協議し、相互理解を深める。

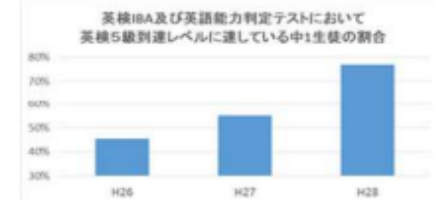
校区外国語教育推進委員会の様子→



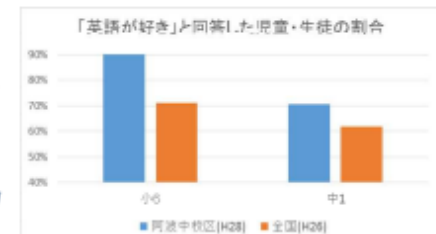
↑教員の共有の様子

## 成果

### ①生徒の英語力が向上した



### ②英語の学習を肯定的に捉える児童生徒が多い



## 今後の課題

- 小中連携を図るための研修時間の確保
  - ⇒持続可能な小中連携を図るための研修時間の確保の仕方について検討する
- 移行期間における円滑な新学習指導要領の実施
  - ⇒新しく示された3観点による目標に対応した評価の仕方等についてさらに検討する
- より効果的な小中連携についての検討
  - ⇒これまでの取組を総括し、より効果的な小中連携のあり方について検討する



## 取組事例①

◎小中高の一貫したCAN-DO型学習到達目標と小中で様式を揃えた年間指導計画の作成

○小学校から高等学校までを見通した一貫したCAN-DO型学習到達目標を作成

⇒小中高等学校の円滑な接続を見通した、系統性のある教育活動を行う。

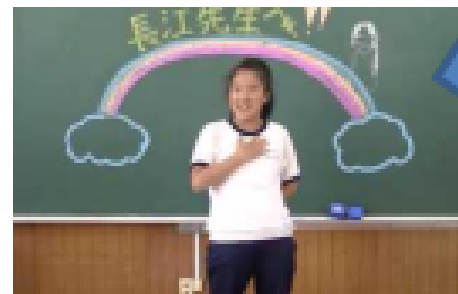
○中学校教員の小6授業への参加

⇒週1時間、中1担当教員が小6授業へ参加し、小学校教員とともに指導を行う。

⇒小学校卒業段階でのCAN-DO型学習到達目標の達成状況が把握できる。

○小中の学習内容の系統性を意識した年間指導計画の作成

⇒小中で年間指導計画の様式を揃え、学習内容を共有する。



↑小中の教員で共有した学習到達目標に達している児童の動画

## 取組事例②

◎「やり取り」の指導を軸とした小中連携

○継続して行う「相手を大切にしたい聞き方・話し方」の指導

⇒児童生徒の発達段階に応じ、「相手を大切にしたい聞き方・話し方」を指導する。

○中学校における「発表」から「やり取り」へと繋ぐ単元計画の工夫

⇒「やり取り」の前に「発表」の活動を行い、自分の考えをしっかりともてるようにする。

⇒中学校での「やり取り」の活動を見通し、小学校で「Small Talk」を行う。



↑やり取りの活動の様子

## 取組事例③

◎児童・生徒の小中連携

○中1生の小6授業への参加

⇒中1生がビデオレターで小6授業に参加し、小6生のモデルとなるようにする。

○中学生に伝えることを目的にした小6単元の開発

⇒卒業間近の小6生が、中1生にメッセージを伝える。



↑中1生によるビデオレター

## 小・中・高連携した活動事例（秋田県由利本荘市の取組）

### 「外国語教育強化地域拠点事業」～秋田県由利本荘市由利小学校・由利中学校・由利高等学校

#### 地域の特徴・課題

秋田県南部に位置し日本海に面する由利本荘市には、小学校14校、中学校10校、高等学校5校がある。これまでもFUN ENGLISH事業に取り組むなど、英語教育に対する研究の土台がある。一方で、県内最大の面積を有し、八つの地区に分かれる地理的な要因もあり、近隣校との連携や、小・中・高の接続が必ずしも十分ではなかった。

小・中・高一貫した系統的な指導の実践や、学びの円滑な接続を図る取組を通して児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図る

#### 取組事例①

#### 授業における小・中・高共通実践

##### ①小・中・高一貫した「学習到達目標リスト」の作成・改善・活用

・各校種の接続に配慮した小・中・高で1枚の学習到達目標リストの作成・改善・活用

##### ②全校種での「秋田の探求型授業」プロセスに基づく授業実践

・「見通しを持つ」→「自分の考えを持つ」→「学び合う」→「振り返る」流れに沿った授業展開  
・小・中学校で共通実践されていたプロセスを高等学校にも拡大

##### ③「即興で話す」能力の段階的な育成

・小：複数回のやり取りのある対話 → 中：考えや気持ちを伝え合う活動の工夫 → 高：ディスカッションやディベートの充実（高3のゴールを見据えた、小学校からの計画的な取組）

##### ④小1から高3まで全て英語で行う授業の実践

・中・高での授業を見据え、小学校から基本的に全て英語で行う授業を実施  
・国際教養大学提供「Quick Reference」（教員の英語発話集）の活用

#### 成果

##### 小学校

全て英語で行う授業が展開された結果、特に児童のリスニングとスピーキングの能力が大きく向上した。

##### 中学校

小学校で教科型を経験した児童は中学校でも高い外国語学習への意欲を保持できている。

##### 高等学校

生徒の言語活動量が増加した。また、英検準2級以上の取得率が大きく増加した。

##### 全校種

大学の協力も得て、全校種で共通理解を図り、児童生徒の成長を追いながら英語教育を推進できた。

#### 取組事例②

#### 授業外での小・中・高連携実践

- ・国際教養大学の留学生との計画的交流（各校種）
- ・高校英語科教員による中学校への出前授業の実施
- ・中学校英語弁論大会への小学生・高校生の参加
- ・高校生の外国語活動授業への補助員としての参加
- ・月1回の担当者会議の実施（各校種代表者出席）

留学生との交流学习



#### 今後の課題

- 小：教科における評価の在り方
- 中：「正確さ」を高める指導の工夫
- 高：目標、内容の更なる高度化

## 取組事例①

# 授業における小・中・高共通実践

### ①小・中・高一貫した「学習到達目標リスト」の作成・改善・活用

- ・各校種の接続に配慮した小・中・高で1枚の学習到達目標リストの作成・改善・活用

### ②全校種での「秋田の探求型授業」プロセスに基づく授業実践

- ・「見通しを持つ」→「自分の考えを持つ」→「学び合う」→「振り返る」流れに沿った授業展開
- ・小・中学校で共通実践されていたプロセスを高等学校にも拡大

### ③「即興で話す」能力の段階的な育成

- ・小:複数回のやり取りのある対話→ 中:考えや気持ちを伝え合う活動の工夫→ 高:ディスカッションやディベートの充実(高3のゴールを見据えた、小学校からの計画的な取組)

### ④小1から高3まで全て英語で行う授業の実践

- ・中・高での授業を見据え、小学校から基本的に全て英語で行う授業を実施
- ・国際教養大学提供「Quick Reference」(教員の英語発話集)の活用



# 小・中・高連携した活動事例（小・中学校、中・高等学校の合同授業）

## 「外国語教育強化地域拠点事業」～奈良県 明日香村立明日香小学校・聖徳中学校・県立桜井高等学校～

地域の特色・課題 幼稚園から高等学校まで連携した、英語を使ったコミュニケーション能力の育成

小・中学校、中・高等学校の英語科合同授業 ～児童生徒が触れ合い、共に学びを深める～

### 取組事例①

## 小学校と中学校の合同授業 「えいごでおかいもの」

中学生は自分が作成した品物の絵カードを売るお店屋さん、小学生は10までの数字が書かれた模擬のお金を使って品物を買うお客さんとなり、英語でコミュニケーションを図りながら買い物をする。交流の中で中学生は、店の人として小学生に英語で分かりやすく伝えるにはどうすればいいかなどを考え、小学生と会話をする。「やさしく、笑顔で、ゆっくりと！」小学生は英語を使って楽しく買い物ごっこをする。

〈目的〉

- 中学生が相手意識をもってコミュニケーションを行う。
- 小学生が英語に慣れ親しむ。
- 小学校、中学校の教員が互いの学校の児童生徒への理解を深める。

〈中学生の振り返り〉

- ・小学生と英語を使って買い物のやりとりができた！
- ・相手に合わせてゆっくり言ったり、繰り返し言ったりできた。

Three dollars, please.

How many do you want?

Three apples, please.



### 幼・小・中・高等学校の連携した英語教育の推進

明日香村一貫教育英語教育部会  
〔教育長、課長、指導主事、推進教員（幼・小・中）、英語科教諭、ALT等〕

研究部会  
中学校 小学校 幼稚園

### 高等学校英語部会

明日香村一貫教育英語教育部会と高等学校英語部会の教員等が定期的に研修会をもち、交流行事の計画や、年間指導計画、指導方法、授業づくり等についての研究を行い、英語教育を推進する。



### 取組事例②

## 中学校と高等学校の合同授業 「自分や自分の学校の紹介をしよう」

中学生が高等学校を訪問し、中学生と高校生がペアになって、自分の好きなものについて伝え合ったり、それぞれの学校の紹介をし合ったりする。

My favorite thing is ～ . I want to be ～ . My school starts at ～ .

〈目的〉

- 高校生が、英語で分かりやすく表現するにはどのような工夫をすればいいかを学ぶ。
- 中学生が英語を使ったコミュニケーションを積極的に行い、伝わった喜びから、英語の学習への意欲を高める。

〈高校生の振り返り〉

- ・中学生と英語でコミュニケーションをするなど新鮮な気持ちで取り組めた。楽しくできたので、英語が好きだということを確認できた。
- ・交流することによってより自身の英語力を高めることができるんだと感じた。

〈中学生の振り返り〉

- ・分からない単語などを高校生が教えてくれた。英語でのやり取りがとても楽しかった。
- ・私もあんな高校生になりたいと思った。



### 成果

- 英語で分かりやすく伝えるために工夫するようになった。
- 英語の学習への意欲が高まった。

### 今後の課題

- 各学校の英語科の学習内容にどのようにつなげるか。
- 事前の打ち合わせ等の時間をどのように確保するか。

## 取組事例①

# 小学校と中学校の合同授業

## 「えいごでおかいもの」

中学生は自分が作成した品物の絵カードを売るお店屋さん、小学生は10までの数字が書かれた模擬のお金を使って品物を買うお客さんとなり、英語でコミュニケーションを図りながら買い物をする。交流の中で中学生は、店の人として小学生に英語で分かりやすく伝えるにはどうすればいいかなどを考え、小学生と会話をする。「やさしく、笑顔で、ゆっくりと！」小学生は英語を使って楽しく買い物ごっこをする。

〈目的〉

- 中学生が相手意識をもってコミュニケーションを行う。
- 小学生が英語に慣れ親しむ。
- 小学校、中学校の教員が互いの学校の児童生徒への理解を深める。

〈中学生の振り返り〉

- ・小学生と英語を使って買い物のやりとりができた！
- ・相手に合わせてゆっくり言ったり、繰り返し言ったりできた。

How many do you want?

Three apples, please.

Three dollars, please.



# 外国語の指導におけるICTの活用について

(令和2年 文部科学省)

[https://www.mext.go.jp/content/20200911-mxt\\_jogai01-000009772\\_13.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200911-mxt_jogai01-000009772_13.pdf)

## 【交流・遠隔授業】 海外・遠隔地の児童生徒と交流を行う事例

小学校

中学校

小規模校をWeb会議システムでつなげる  
「小小連携」・「小中連携」の遠隔協働学習

- ・小学校5年生同士が、行きたい国について英語で交流。 (富山県 南砺市立上平小学校・南砺市立井口小学校)



- ・小学校6年生と、中学校2年生が、Web会議システムでつながり、将来就きたい職業について英語で交流。 (富山県 南砺市立上平小学校・南砺市立平中学校)





- ・小学校6年生と、中学校2年生が、Web会議システムでつながり、将来就きたい職業について英語で交流。 (富山県 南砺市立上平小学校・南砺市立平中学校)



平成25年度 小中連携授業実践記録 北海道教育大学

<https://www.hokkyodai.ac.jp/files/00002300/00002353/H25%E5%AE%9F%E8%B7%B5%E8%A8%98%E9%8C%B2.pdf>

附属学校における英語教育の小中連携の試みー中学生と小学生の合同英語授業の実践の成果と課題ー 平成29年 山梨大学教育学部

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1390853649708456576>

平成24～令和4年度小中連携英語教育推進事業 事業のまとめ  
宮城県教育委員会

[https://www.pref.miyagi.jp/documents/1189/h24-r4\\_shochu\\_matome.pdf](https://www.pref.miyagi.jp/documents/1189/h24-r4_shochu_matome.pdf)

ご清聴ありがとうございました



# 提出期限の確認

① 評価アンケート提出期限

講座終了後**3日以内** ⇒ **7月31日 (月)**

② リフレクションシート

講座終了後**1週間以内** ⇒ **8月2日 (水)**

# 次回（授業研究③④）の予告

○第6回講座 授業研究③ 聞くこと・話すこと

**7月31日(月) 9:00~10:30**

秋田県横手市

○第7回講座 授業研究④ 聞くこと・話すこと

**7月31日(月) 10:40~12:10**

東京都足立区

講 師 井熊ひとみ

(J-SHINE理事 共愛学園前橋国際大学客員教授  
育英短期大学非常勤講師)

# 今後の授業研究の担当

- 第8回： 8月 3日 (木) いわき市 (聞くこと・話すこと)
- 第9回： 8月 3日 (木) 妙高市 (チーム・ティーチング)
- 第10回： 8月17日 (木) 前橋市 (聞くこと・話すこと)
- 第11回： 8月17日 (木) 浦安市 (読むこと・書くこと)
- 第12回： 8月22日 (火) 岐阜市 (学習評価)
- 第13回： 8月22日 (火) 土浦市 (チーム・ティーチング)